

※下記の内容を記載のうえ、事業所所在地の自治体にFAXにてお申し込みいただくか、参加申込フォームのQRコードからお申し込みください。

1 セミナー参加申込

※本情報は、セミナー当日の参加者間の交流を促進するため、一覧表にして配布します。
※申込書に記載された個人情報は、当該セミナー&相談会以外の目的で使用することはありません。

事業所名	
所在地	
役職	
参加者氏名	
TEL	
メールアドレス	
提供する製品、サービス等	

参加申込フォーム

以下のQRコードから
アクセスしてください



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

2 研究機関等と相談したい (研究機関等との個別相談をご希望される方のみご記入ください。)

相談先の希望を選択してください。 (希望先に <input checked="" type="checkbox"/>)	相談したい内容(技術的相談等)について記載してください。 ※出来るだけ具体的に記載してください。
<input type="checkbox"/> 富山大学 <input type="checkbox"/> 富山県立大学 <input type="checkbox"/> 富山高等専門学校 <input type="checkbox"/> 富山県新世紀産業機構 <input type="checkbox"/> 富山県産業技術研究開発センター	

3 申込・問い合わせ先

自治体	住所	TEL	FAX	E-mail
高岡市産業企画課	高岡市広小路7番50号	0766(20)1395	0766(20)1287	sangyo@city.takaoka.lg.jp
射水市商工企業立地課	射水市三ヶ2602番地	0766(51)6675	0766(57)1105	kigyoushi@city.imizu.lg.jp
氷見市商工観光課	氷見市鞍川1060番地	0766(74)8105	0766(74)8104	shokokanko@city.himi.lg.jp
砺波市商工観光課	砺波市栄町7番3号	0763(33)1392	0763(33)6854	shoko@city.tonami.lg.jp
小矢部市商工立地振興課	小矢部市本町1番1号	0766(67)1760	0766(67)1567	syoko@city.oyabe.lg.jp
南砺市商工企業立地課	南砺市荒木1550番地	0763(23)2018	0763(52)6349	shokoka@city.nanto.lg.jp

ものづくり開発・経営支援
セミナー&相談会

参加無料
定員20名^{程度}

とやま呉西圏域(高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市)では、呉西圏域の事業者と研究機関等の連携を図り、事業者の新品・技術開発や経営改善に繋がるよう、セミナーと相談会を開催します。また、当日はセミナー会場となる富山県産業技術研究開発センターが備える最新の試験研究設備を見学いただけます。

日時 令和7年 12月1日(月) 13:30~16:20

会場 富山県産業技術研究開発センター
ものづくりライブラリー (高岡市二上150)



第Ⅰ部 | セミナー (13:30~15:10)

- 施設の概要・取り組み紹介
富山県産業技術研究開発センター 企画管理部 部長 住岡 淳司 氏
- 施設見学
「オープンイノベーション・ハブ」「環境負荷評価棟」等の施設を見学します。

第Ⅱ部 | 相談会 (15:20~16:20)

- 研究機関との相談会
 - 富山大学
 - 富山県立大学
 - 富山高等専門学校
 - 富山県新世紀産業機構
 - 富山県産業技術研究開発センター

富山県産業技術研究開発センター(セミナー会場)について

センターの概要

富山県の活力ある産業づくりを推進する中核機関として、「高度で、特色があり、役に立つ」をモットーに、依頼試験や技術相談などの技術支援、基礎から実用化までの研究開発、技術情報の提供を通して、県内中小企業の研究開発や新製品開発、新産業の創出を積極的に支援します。



富山県産業技術
研究開発センター
WEBサイト

オープンイノベーション・ハブ

研究者、技術者が集い、コミュニケーションを図る交流スペースと技術を実証するプロジェクト室を整備し、オープンイノベーションを支援しています。

ものづくりライブラリー

企業、大学、県の産業支援機関などが有する技術や素材を展示しています。



プロジェクト室

産学官連携による技術開発プロジェクトを推進(3室)しています。



プロジェクト室



ものづくりライブラリー

環境負荷評価棟

様々な自然環境や電磁ノイズ環境に対する製品の耐久性を評価する試験室を整備し、製品の信頼性の評価を支援しています。

自然環境負荷試験室

温度湿度日射の変化などを模擬した環境を人工的に作り出せる試験室です。

●自然環境負荷システム

縦横9m、高さ3.5mのチャンバーで、
-30~+80℃、30~95%RH(+20℃
以上)の範囲で試験可能です。



●日射装置

固定式・移動式のメタルハライドランプを備えており、最大5m×2mの範囲
まで使用できます。

電磁環境負荷試験室

電子機器の電磁ノイズに対する耐性等の試験室です。

●電磁ノイズ試験システム

電子機器が静電気や雷による電磁
ノイズを受けた際の故障等の有無を
評価する装置です。



●過渡サージ試験装置

車載機器等が瞬間的な異常電圧を受
けた場合の故障等の有無を評価する
装置です。

とやま呉西圏域の 取組について

本圏域が目指す将来像「環日本海の中核拠点」の実現に向けて、圏域の「人」、「強み」、「つながり」の活用・充実を大きな柱とした9つの基本方針に基づき、本圏域の連携中枢都市圏としての役割を果たすとともに、圏域各市の機能分担を図りながら、産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各分野における連携施策に取り組みます。

圏域が目指す将来像

環日本海の
中核拠点

連携中枢都市圏の形成

圏域づくりの基本方針

圏域の成長を後押しする人づくり

- 1 圏域経済の成長基盤となる人材の育成
- 2 地域医療・福祉サービス人材の安定的供給
- 3 交流から定着につなげる人づくり

人

強みを活かした「稼ぐ力」の創出

- 1 呉西型産業クラスターの形成
- 2 「稼ぐ」呉西イノベーションの実現
- 3 戦略的な広域観光の推進

強み

つながりの深化による好循環の実現

- 1 公共交通ネットワークの活性化
- 2 総合的な地域医療・保健・福祉体制の構築
- 3 生涯安心して暮らせる圏域づくり

つながり

活用・充実

圏域の役割

圏域全体の
経済成長の
けん引

高次の都市
機能の集積・
強化

圏域全体の
生活関連機能
サービスの向上

研究機関等 の紹介

富山大学

本学は、カーボンニュートラル・ヘルスケア・軽金属・データサイエンス・文化財保存といった多様な強みを有する総合大学として、地域社会が抱える多様な課題に取り組み、地域に貢献する総合大学を目指しています。企業と大学を結ぶ懸け橋として、学術研究・産学連携本部を設置しており、複数のコーディネーターが技術相談を随時受け付けています。2023年には、産学官民が協働で取り組む資源循環型社会モデルの拠点として「軽金属材料共同研究棟」を高岡キャンパスに設立し、先端的な研究設備や、企業等と共同研究を推進するためのオープンラボを本研究棟に整備しています。



学術研究・産学連携本部



軽金属材料共同研究棟
(2023年竣工)



富山大学
WEBサイト

富山県新世紀産業機構

当機構では、県内中小企業者が直面する経営・製品開発・販路開拓などの経営課題に対して、ワン・ストップで相談をお受けし、地域の支援機関と連携しながら適切な支援策をご紹介します。



当機構では、セミナー開催に併せた個別相談会や出張相談会を開催しています。



富山県新世紀産業機構
WEBサイト

富山高等専門学校

社会が必要とする技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、本科5年間(商船学科は5年半)、専攻科2年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機械・電気・物質化学・電子情報に加え、商船・国際ビジネスという幅広い学科構成により、実験・実習を重視した専門教育を行い、実践的エンジニア・海事技術者・ビジネスパーソンを育成すべく、専門的な知識や技術が身につけられるよう工夫していることを特徴としています。近年は研究活動の高度化を推進し、あわせて地域社会への貢献を積極的に推し進めています。



フォーラムを開催して、共同研究等の成果を発表
写真は、「令和6年度とやまKOSEN コラボフォーラム」の様子



富山高等専門学校
WEBサイト

富山県立大学

本学には、地域連携センターがあり、3名の産学官連携コーディネーターがいます。専門分野ごとに、企業の製品開発に向けたコンサルティング、技術相談等のご要望に対し、先生方との間をコーディネートしています。令和8年度には情報工学部新棟とGXを推進するための「グリーン×AI教育研究拠点」が共用開始されます。AI・データサイエンスによる分析や将来予測を取り入れ、GXによる社会課題解決及び社会実装に向けた共同研究を推進します。



富山県立大学
WEBサイト